

町内の小学3年生から中学3年生を対象に、学習や生活に関する調査を行いました。

<h3>1 セルフマネジメント力</h3> <p>【早寝早起きをしている】 小 早寝：69% 小 早起き：82% 中 早寝：49% 中 早起き：74%</p> <p>【誰にでも挨拶をしている】 小：99% 中：92%</p> <p>【家庭学習時間を決めている】 小：61% 中：43%</p> <p>【学習時間0分】 小平日：0% 小休日：3% 中平日：5% 中休日：10%</p> <p>【適正睡眠時間を確保】 小：48% 中：36%</p> <p>※適正な睡眠時間 小：9～11時間 中：8～10時間</p> <p>【メディア時間を決めている】 小：62% 中：19%</p> <p>【整理整頓している】 小：76% 中：73%</p> <p>【いつ何をするか決めている】 小：68% 中：40%</p>	<p>「整理整頓」および「あいさつ」の状況について肯定的な回答が多くありました。</p> <p>一方で、「就寝・起床状況」については、推奨睡眠時間を確保している割合が少なく、学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなる傾向があります。「睡眠時間の確保」は心と体の健康を守るためには非常に重要です。</p> <p>【質の高い睡眠を確保するポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 朝食を抜かない。就寝の2時間以上前に夕食を食べ終わる。 ✓ 睡眠の1時間前からスマートフォンの使用を控える。 <p>(厚生労働省 健康づくりネットより)</p>
<h3>2 学習（学校で）や読書の様子</h3> <p>【発言・発表方法を工夫している】 小：90% 中：73%</p> <p>【読書する時間を決めている】 小：29% 中：14%</p> <p>【学習のやり方を見直して学習している】 小：88% 中：82%</p> <p>【読書時間（割合が最も多い回答）】 小平日：30分未満→50% 小休日：30分未満→42% 中平日：30分未満→46% 中休日：全く読まない→58%</p> <p>【課題の解決に向けて自分で考え取り組んでいる】 中：85%</p> <p>【対話を通して自分の考えを良くしようとしている】 小：90% 中：89%</p> <p>【学んだことを生かして自分の考えをまとめている】 中：79%</p>	<p>子どもたちは、学校での学習の様子を高く評価しています。学校での「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを推進している成果と言えます。</p> <p>一方、読書習慣については十分とは言えない結果となりました。</p> <p>【小学生が読書をするきっかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋に連れて行ったりすること（51.1%） ✓ 家の中で手に取りやすいところに本が置かれていること（43.6%） <p>(平成28年度 子どもの読書活動の推進等に関する研究調査より)</p>
<h3>3 利用メディアとその傾向</h3> <p>【家庭でのメディア使用のルール】 小 有る：67% 中 有る：45%</p> <p>【SNS使用】 ・LINE（小：27% 中：68%）を使用する割合が最も高く、次いでTicTok（小：29% 中：55%）、Instagram（小：9% 中：46%）となっている。</p> <p>【メディア使用時間（割合が多い回答）】 小平日：2～3時間→27% 1～2時間→25% 小休日：4時間以上→46% 中平日：4時間以上→37% 2～3時間→27% 中休日：4時間以上→69%</p> <p>【ゲーム使用】 オンラインゲーム ・小学生は学年が上がるにつれて使用する割合が増加する。 ・中学生は、学年が上がるにつれて使用する割合が減少する。 ・全学年の中で、小学6年生が使用する割合が最も高い。（76%） オフラインゲーム ・学年が上がるにつれて使用する割合が減少する。 ・全学年の中で、小学3年生が使用する割合が最も高い。（81%）</p> <p>【従来メディア（テレビ）視聴】 小：99% 中：99%</p> <p>【ネット動画視聴】 小：84% 中：91%</p>	<p>【デジタルシティズンシップ】</p> <p>「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し参加する能力」のことを指します。様々な場面でデジタルメディアを利用する現在の子どもたちがこの能力を育むためには、私たち大人がデジタルシティズンシップを理解し、対話を通して子どもたちの疑問や困りごとに対応していくことが大切だと言われています。</p> <p>総務省動画チャンネル（QRコード）が参考になりますので、ぜひご覧ください。</p> 
<h3>4 「阿賀町の教育」で目指す子どもの姿</h3> <p>「身につけている」と肯定的に回答した児童生徒の割合</p> <p>小学生 学びに向かう力【協力する力】 97%</p> <p>【感情をコントロールする力】 88%</p> <p>【優しさと思いやり】 92%</p> <p>小中共通 【粘り強く取り組む力】 小：94% 中：92%</p> <p>中学生 コミュニケーション力【伝え合う力】 81%</p> <p>【受容する力】 95%</p> <p>【多様な他者と関わる力】 81%</p>	<p>左記の内容は、物事に対する姿勢や取り組み方、他者との関係の構築などの力で、日常生活や社会活動において重視される能力（非認知能力）と言われています。子どもたちは、園や学校、家庭、地域との関わりの中で、その能力が身につけていると評価しています。</p> <p>【やってみよう！が学びの芽】</p> <p>右記（QRコード）の動画は、幼児教育において育みたい力についての内容です。非認知能力の育成について参考になる部分もありますので、ぜひご覧ください。</p> 

「町ぐるみ、みんな」を合言葉に、阿賀町の子どもたちを育てていきましょう。